土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　一級河川　江の川水系　宮奥谷川　測量設計地質調査業務委託（通常砂防・交付金）

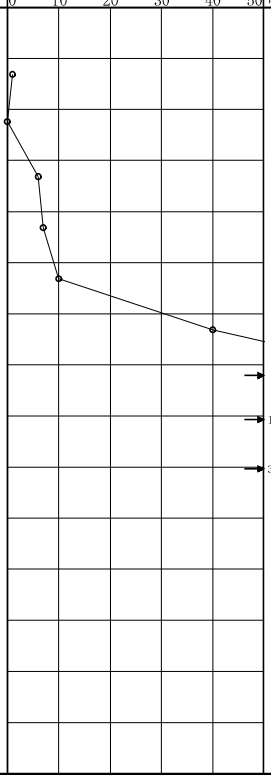
事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象　砂防 掘削・掘削のり面

ボーリング名	Bor-No.6	**調査位置**	広島県庄原市比和町森脇地内			**北緯**	35° 00′ 23.6459″
発注機関	広島県北部建設事務所庄原支所			**調査期間**	2022年 6月 7日 ～ 2022年 6月 9日	**東経**	132° 59′ 26.8137″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**	**ボーリング責任者**
孔口標高	T.P. 465.44m	**角度**	180° 上 90° 下 0° 0°	**方位**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90° 40°
総削孔長	10.00m	**使用機種**	**試錐機**	東邦D0	**エンジン**	ヤンマーNF-10	**ポンプ** 東邦BG-3

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日
1	464.49	0.95		砂混じりシルト		黒褐		rc1	新生代第四紀	黒ボク土からなる有機質な表土。 シルト主体で木草根多く混入。密度は低く非常に軟らかい。	
2	463.44	2.00		礫混じり砂質粘土		淡黄褐		rc1		軽石起源の風化粘土。含水により粘性強くなる。φ10～30mmの角礫が不規則に少量混じる。	
3	462.54	2.90		火山灰質砂			rd1			φ1～3mmの軽石主体。密度は非常に低く締まりは悪い。 2.85m付近，白色の火山灰薄層を挟む。	
4				礫混じり粘土質砂		淡褐	rd2			不均質な崖錐堆積物。 中～粗砂や鉱物粒およびφ数mm～30mmの風化礫を多量に混入。 基質は粘土分に富み含水により強い粘性を示す。 3.0m付近，有機物を挟む。 4.0m付近，木根あり。	
5	459.94	5.50									
6	459.54	5.90		強風化流紋岩		淡灰褐			中生代白亜紀	DL級，砂質土相当。 短柱状コアで採取されるが，指圧で容易に変形する。	
7	458.44	7.00		強風化流紋岩						DM級，礫質土相当。 白色粘土を伴う変質部で比較的硬質な岩片を残すも細片化している。 流入粘土により褐色を帯びる。	
8	457.34	8.10		強風化流紋岩		淡褐灰				DH級，軟岩I相当。岩片状コア主体。 割れ目を残すが，岩片は軟質化する。	
9	456.34	9.10		強風化流紋岩						DM級，礫質土相当。 全体に変質進行し，軟質な白色粘土に岩片，細礫が浮いたような組織を呈する。	
10	455.44	10.00		風化流紋岩		淡白灰				CL級，軟岩I相当。岩片状～短柱状コア。 割れ目および岩片は比較的新鮮。 9.60m付近，変質を伴う高角度割れ目。	

標準貫入試験



N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
1	1.15	1/300			1/300		
	1.45						
0	2.00	0/450			0/450		450
	2.45						
6	3.15	1	2	3	6/300		
	3.45						
7	4.15	2	2	3	7/300		
	4.45						
10	5.15	2	4	4	10/300		
	5.45						
40	6.15	11	13	16	40/300		
	6.45						
79	7.10	21	29/90		50/190	190	
	7.29						
136	8.00	42	8/10		50/110	110	
	8.11						
375	9.00	50/40			50/40	40	
	9.04						

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験	削孔月日
					6/7